

◇2023年 年頭所感

「みどり」を通じて
地域貢献を

佐賀県造園建設業協会会長 村山 優



新年あけましておめでとう
ございます。

県民の皆様におかれまして
は、健やかに新年をお迎えの

こととお慶び申し上げます。
日頃より、当協会の事業運
営につきまして、格別のご協
力、ご支援を賜り厚くお礼を
申し上げます。

昨年は、例年に引き続き、
日本各地において地震や台風
により甚大な被害がもたらさ
れましたが、佐賀県は、幸い、
2019年に佐賀県西部地域
を中心に被害をもたらしたよ
うな豪雨災害はなく安堵の一

年でしたが、雨期における災
害は山間部を中心に発生して
おり災害対策の重要性は増し
ております。

このような中、私も佐賀
県造園建設業協会は、地震、
風水害その他災害が発生する
場合において、佐賀県が行う
応急対策等に対する応援協力
及び緑化啓発活動等につい
て、その運営を適正かつ円滑
に運営するために、佐賀県と
2018年5月に「災害時の
応援協力及び緑化啓発活動等
に関する協定」を締結いたし
ました。

をおこない、また、協会活動
として緑化啓発活動を行い県
政に寄与してまいりました。
昨年も、県からは、緑化推
進活動の更なる強化のための
補助をいただき、県内各地で
緑化推進の活動が強化され、
多くの県民の参加をいただい
ているところであり、年々、
緑化活動に取り組む地域ボラ
ンティア団体の掘り起こしも
出来つつあり、県民に緑化意
識の高さを再認識したところ
であります。

昨年、県の補助を受け、県
内の各地域において、行政・地
域ボランティア団体と一体
となり、緑化啓発活動を行い、
県土の緑化に努めました。
県では、2024年には国

民スポーツ大会・全国障害者
スポーツ大会の開催が予定さ
れています。この大会の開催
を通じて県内のスポーツの力
を生かし、新たな佐賀県の未
来を切り開くため、私も協会
も緑化啓発活動を通じて大会
の成功及び県民の緑化意識の
向上に取り組んでまいります。

さらに、佐賀県の魅力をな
お一層、全国に発信するため
に、全国都市緑化フェアの佐
賀県での初開催を強く要望し
てきたところでありますが、
昨年11月には、念願かない、知
事が国に対して、2028年
度に開催希望を示されました。
ご承知の通り、全国都市緑
化フェアは、花や緑に関する
国内最大級のイベントで有

り、「緑のまちづくりの推進」
「市民の緑化意識の向上」都
市緑化に関する知識の普及」
等を図ることにより、緑豊かな
潤いのある都市づくりに寄
与することを目的として開催
されています。

佐賀県開催については、こ
れまでの開催地での手法や緑
化という産業のみにとらわれ
ず、多様な佐賀県内の農林水
産資源や観光資源、歴史遺産
等を「ここにしかない、佐賀
ならではの」多様な且つ独自
の展示方法や手法を駆使し
て、県民の参加意欲がかき立
てられるような開催であって
ほしいと思います。その結果
として、佐賀県内の多くの産
業が恩恵を受け、佐賀県内全

一丸となつての組合活動

佐賀県造園協同組合理事長 松隈 邦博



令和5年の年頭にあたり、
謹んで新年のご挨拶を申し上
げます。

組合員の皆さんには日頃よ

の組合活動、購買事業推進に
多大なるご支援、ご協力を賜
り厚くお礼申し上げます。昨
年は新型コロナウイルス感染
症は一進一退という感じであ
り私たちも少々慣れてきてし
まったような状況かもしれま
せん。

経済のことを考えると、ウ
イズコロナで進めざるを得な
い感じですが、一刻も早く普
通の暮らし、仕事ができるよ

うになつてもらいたいもので
す。

コロナによる直接的な影響
が仕事にも出ているという点
では、感染者、濃厚接触者が
出た場合等は注意、対策等を
されて業務を行つておられる
と思います。

昨年7月の定期総会も大幅
な縮小での開催となりまし
た。
共同購買事業につきまして
は前期比91%となり、今期の
盛り返しが必要となつており
ます。また主たる事業の技術
技能向上を目指した造園技能
検定は、熱中症対策として県
職業能力開発協会のご配慮に
より、10月に実施できました。

5月には業務安全対策とし
て、フルハーネス型墜落制止
用器具特別教育を行い、高所
作業での安全確保について学
びました。人手不足の中、私
たちの業界にもなかなか人が
来てくれません。各事業所に
おいても人材確保が課題で
す。そこで、何もしないとい

も起こらない、と組合理事、
役員で危機感を共有し、初の
試みとして、11月に県立高志
館高校へ「造園士とは」と題し
て、授業における出前講話を
実施させていただきました。
庭造り、公園工事、外構工
クステリア工事、剪定お手入
れ等の場面を映像で見てもら
い、その後おにも同校を卒業

した若い職人さんたちに、生
徒さん方の前で講話をしても
らいました。

高校生が身近に感じ、せっ
かく造園コースを学んでいる
ので、造園業界に就職してみ
ようと考えてもらえればと願
つて実施しました。校長先生
はじめ、担当先生方のご理解
、ご協力に感謝いたします。こ
れからは学校との絆を今まで
以上に強く持ちたいと願つて
います。

また、今後は県内の多くの
実業系高校へ、各地の理事、
役員、また若い職人さんが話
し手となり、この出前講話を
実施できればと願つておりま
す。

他に小中学校へのもの作り
体験教室、吉野ヶ里公園での
花とみどりの市におけるガー
デンショーは、緑や庭を身近
に楽しんでいたいただしていま
す。

競技大会等では、1年延期
となつていた中国、上海での
技能五輪国際大会は、コロナ
で中止となり代替の造園競技
国際大会が、10月24日から27

日まで北ヨーロッパ、エスト
ニアで16か国出場して開催さ
れ、日本代表チーム(中野太
一、(株)伊万里春光園、浦辻知
菜莉、(株)近江庭園)のペアが
見事、銀賞を獲得しました。
本番まで長い道のりでしたが
本人たちはもとより、ご指導、

ご尽力いただきました関係者
の方々に厚くお礼申し上げま
す。国内大会は東京で11月5、
6日と競技が行われ、当県よ
り2名出場しました。残念な
がら入賞はなりませんでしたが、若い選手には、良い経験
となり、今後の活躍を期待し
ています。

庭の中において、庭を見て、
庭とともにあるライフスタイ
ルを創る、また日本庭園等い
ろいろな場面を創り出してゆ
くことを我々の責務と信じ、
組合員一丸となつて事業運営
を今年も推進してゆきましょ
う。今年も皆様にとつて良き
年でありますことを祈つて、
新年のご挨拶といたします。

